

国家試験の合格発表までの期間の短縮について

要望

国家試験の合格発表に、なぜこんなに時間がかかるのでしょうか。
資格を取って転職しようと考えているのに、就職活動を始められません。

見直し結果

- ▶ 社会人に人気がある国家試験のうち、読取装置で採点するマークシート方式なのに合格発表までの日数がおおむね30日以上のおおむね7試験について、所管省に期間短縮の検討を依頼。
- ▶ 所管省では、解答用紙の輸送時間の短縮、試験委員会における検討期間の短縮、合格発表のホームページによる実施などにより、5日～32日の期間短縮を行う予定。

試験・資格	所管省	見直し前の日数	見直し後の日数	短縮日数（予定）
浄化槽管理士	環境省	49日	17日	- 32日
社会保険労務士	厚生労働省	47日	25日	- 22日
第二種電気工事士	経済産業省	33日	14日	- 19日
通関士	財務省	38日	25日	- 13日
社会福祉士	厚生労働省	26日	20日	- 6日
宅地建物取引士	国土交通省	30日	25日	- 5日
保育士	厚生労働省	34日	29日	- 5日

- （注）1. 日数は、試験機関等における稼働日数であり、合格発表までの期間は、これに土日祝日等の日数が加わる場合がある。
2. 受験者数、試験会場数、試験科目数などの条件が異なるため、単純な比較はできないことに留意が必要。
3. 保育士試験については、一次試験の合格通知に、二次試験（実技試験）の受験票を同封しているため、二次試験のスケジュール調整に係る日数が含まれている。

見直しの横展開

◎マークシート方式の国家試験を実施している府省に上記を参考に期間短縮を検討するよう依頼（6月21日）。